

雅楽だより

《目次》

- 雅楽はすごい。魂の音楽・雅楽
対談 安富 歩 東京大学教授
遠藤 徹 東京学芸大学教授 1
- 筆箋用ヨシの復活を目指して 1
- 舞楽面の貸出し 日本仮面文化研究所 所蔵の面 4
- 天理教と雅楽 (3) 佐藤浩司 6

- 品川で毎月雅楽公演を開催 雅楽道友会 8
- 現代語訳『楽家録』(17) 監修 遠藤 徹 9
- 情報欄 10
- 新刊『雅楽の誕生』 鈴木聖子 著 12
- 新刊『唱歌で学ぶ日本音楽』DVD2枚付 12

第57号
発行

2019(平成31)年4月
雅楽協議会

新しい視点から雅楽を語る

(1)

雅楽はすごい。魂の音楽・雅楽

対談 安富 歩 東京大学教授
遠藤 徹 東京学芸大学教授



安富歩 東大教授

○(遠藤)「安富さん、初めまして。「雅楽だより」では『樂家録』現代語訳の監修をしていただいている雅楽の研究の第一人者です。

○(安富)「雅楽だより」を編集している鈴木さんから、雅楽によります。遠藤徹さんは、「平安朝の雅楽」「雅楽を知る事典」などの著書もあり、「雅楽だより」では『樂家録』現代語訳の監修をしていただいている雅楽の研究の第一人者です。

5月には新しい時代を迎える今、東京大学東洋文化研究所教授の安富歩さんと、東京学芸大学教授で東洋音楽学会の前会長の遠藤徹さんに「新しい視点から雅楽を語る」と題して、2月14日、東京大学東洋文化研究所で対談していただきました。

安富歩さんは、「超訳論語」「マイケル・

ジャクソンの思想」など多数の本を出版され

ています。遠藤徹さんは、「平安朝の雅楽」「雅楽を知る事典」などの著書もあり、「雅楽だより」では『樂家録』現代語訳の監修をしていました。

とても関心を持っている東大教授の安富さんと対談をしていただけないかという連絡を受けまして、今日を楽しみにして参りました。まず、安富さんが雅楽になぜ関心を持つようになったのか、そのいきさつなどをお聞かせいただけませんか。」

○(安富)「雅楽を、すごいと思うようになつた理由を話すと長くなるんですが、かいつまでもお話しします。筆箋の蘆舌のヨシの保存の時に関心を持ちまして、それから「雅楽だより」を購読していますが、実は雅楽はほ

(以下2ページ上段へ続く)

筆箋用ヨシの復活を目指して

地元の方々の取組みに協力を

品質は昨年より悪い・本数も少ない
筆箋用ヨシ

上牧実行組合の木村和男さんに、3月4日ヨシ原を案内していただきながら今年採取の筆箋用ヨシの状況をお聞きしました。

木村さんは、今年のヨシの出来栄えについて「今年採ったヨシは、台風の影響を受けてヨシの穂が飛ばされたヨシが多く、また風の影響で1m50cm~80cmぐらいのところで曲がつてしまっている。さらにシミがあつたりしていて良いヨシを選ぶのに時間がかかりました。(3ページ 2段6行目へ続く)



上牧・鶴殿ヨシ原のヨシ原焼きは、予定より1週間早めて2019年2月17日行われました。ヨシが乾燥していてよく燃えたそうです。

写真 木村和男氏



遠藤徹 東京学芸大学教授

とんど聞いていませんでした。CDで聞いても感動しなかったのです。ところが、いろいろなきっかけから、音楽家の片岡祐介さんと、スピーカーを開発することになったのです。それもダンボールにスピーカーユニットを取り付けただけというたってシンプルで安価なもので、「純セレブスピーカー」と名付けたのですが、これで雅楽を聞きましたところ、とても感動したのです。」

○(遠藤)「そうなんですか。スピーカーを作られているとは知りませんでした。」

○(鈴木)「演奏者の側からすると、スピーカーという出力の側は余り考えることは無いかと思います。太鼓の音を録音する時は、どんなマイクが良いとか、スタジオの状況を変えるとかではなかったかと思います。スピーカーのあり方を変えてとは考へてもなかつたと思います。」

○(安富)「今までの市販のスピーカーでは、太鼓の大きな音と、一管だけで鳴る小さな音をとても再生できない。できたとしても、ものすごくお金がかかる。ところが、安価で簡単にできる純セレブスピーカーでは、目前で太鼓が大きな音で鳴って、つぎの小さな管の音もはつきりと、空気感までが聞こえるのです。入れ物をダンボールに変えると、考えてもいなかつた音の変化がありました。」

○(遠藤)「それは、なぜなのでしょうか。」

○(安富)「雅樂的な発想と同じだと思います。がちりと固定してしまうと制御が難しくなるので、固定しない事が大事なのです。私がかつて研究していた非線形科学という分野が



机の上に置いてある白い球状の二つのものが、安価で簡単にできる「純セレブスピーカー」。このスピーカーは目の前で、太鼓は大きな音で、管の小さな音もはつきりと鳴り、空気感までが聞こえる。左より 安富歩氏、遠藤徹氏 鈴木治夫

あつて、その知識を前提にすれば、音楽の再生のようないくつかの現象は、きちんと制

御するのではなくて、ゆるく制御して、スピーカーが鳴りたいように鳴つてもらうのがいいんです。今までのスピーカーは、重くて固体の函にがつちりと固定しますが、このスピーカーは、ダンボールや和紙で作った軽く

やわらかな函体にユニットを載せて、自分で動くということにしています。この非線形思考に従つた純セレブスピーカーで鳴らすと、太鼓の音でもそこに楽師が座つて太鼓を叩いている様に聞こえるのです。」

○(遠藤)「それはすごいですね。画期的なスピーカーですね。」

○(鈴木)「机の上のこの小さいスピーカーからこんな音が出るとは信じられませんね、素晴らしい音ですね。驚きですね。今までにはマイクの録音技術ばかり考えていましたが・・・」

○(安富)「この新しいスピーカーでいろいろな音楽、クラシックから、ジャズやロックなども聞きました。そして雅楽を聞き直してみると、その素晴らしい音楽に衝撃を受けました。」

それまでは、雅楽はそんなに深淵な音楽だとは思つていなかつたのです。ところが、このスピーカーで聞き直してみると、蘭陵王の陵王乱序、太鼓と鞨鼓と鉦鼓だけで演奏される部分がありますよね。太鼓がゆつくりドーン、ドーンと鳴つているだけなのに、そこ

がクライマックスであることははつきりと感じられる。背筋が寒くなるほど感動しました。クラシックではクライマックスは、一番速く音が大きいのに、雅楽では静かなのです。ク

ラシックの音楽と考え方が真逆といつて良いかもしません。」

○(遠藤)「クラシックや現代音楽と雅楽について片岡祐介さんと研究していて、細かくはまたの機会にという事にさせていただいて、かいつまんで話します。私はベートーベンの運命交響曲がクラシック音楽の原理を提示された抑圧と、人間の魂の対抗を表現する、ということです。そしてこのクラシック音楽は第一次世界大戦で終わりました。機械化された戦争のあまりの凄まじい暴力の前に、魂の解放というテーマが見失われたのです。」

○(安富)「クラシック音楽や現代音楽についても環境破壊などが地球を覆つていることは明白で、それを音楽として表現したところで人びとはもううんざりなのです。ましてや今では現代の恐怖を見事に描いた作曲手法を、その

本義を忘れてこねくり回す作品ばかりで、現代音楽はもはや退屈極まりない。

また、ロックンロールは、少數の例外を除いて、単なる消費産業に堕落しています。音楽は、人ひとが気をまぎらわす為に消費されている。ロックンロールの爆音に浸っている時だけ、不安を忘れることが出来る、そんな麻薬的な忘却装置としてある。

近代の抑圧を乗り越えるためだったはずのものが、さらなる抑圧を生み出している、そのような状況が現代ではないかと思っているのです。ではそんな時代に、何が必要なのかと考えた時、近代文明の持つている人間中心主義・合理主義には、解決の路は無いのです。哲学者ヴィトゲンシュタインが信じたように、神祕が合理性を支えていること、人もまた自然と宇宙の一部だということを実感せねばならない。雅楽こそは、まさに宇宙を実感できる音楽だと思うのです。

現代音楽を生み出した人ひとが目指した音楽は、実は雅楽ではなかつたか、とさえ思いました。ベートーベンは暴力と魂とを描きましたが、現代音楽は暴力だけを描いていて、魂はどこかにいつてしまつた。暴力を溶かす魂の力を描く非暴力の音楽は、雅楽のような音楽ではなかつたか、と考えるのです。」

○（遠藤）「雅楽を世界の音楽史の中から捉え返すとなにか新しいものが見えてきそうですね。」

雅楽をめぐる対談は3時間余りに及びましたが話は終わらず、これからも対談を続けていきましょうということで、この対談は連載いきます。

することになりました。

今後は、世界の音楽史の中での雅楽や、音楽とは何か、などなど。今後をお楽しみに。

このままでは、ヨシが絶えてしまうと地元の関係者は本当に危機感をもつていて

樂とは何か、などなど。今後をお楽しみに。

（1ページ3段最終行より）

ました。品質は昨年度より悪いです。篠簾用ヨシが採れる場所を雑草が覆い、ヨシの成長を妨げてもいて、採れる場所が昨年より狭かつた。ですから今年のヨシは、全体的に品質は昨年より悪く、採れる本数も少なかつた」という。

今まで、「篠簾用ヨシが絶えてしまう」と語られきましたが、「もう、話だけしていける時期は終わつた。本当に何か手を打たないと」と地元の方々は、今年のヨシの状況を見て、本当に絶えてしまうという危機感を募らせているのがひしひしと感じられました。

篠簾用ヨシの復活を目指して

取り組み始まる

地元では、1月28日に篠簾用ヨシの復活を目指して河川財團（公益財團法人）を中心にして上牧実行組合、鵜殿のヨシ原保存会、高槻市、植物専門の研究者を交えて情報交換会が開催されました。

その中で篠簾用ヨシの復活のため、今後の取組みとして次の案が実行に移されることになりました。

つる草など雜草の退治へ

木材のチップを敷く

(1) 「つる草などの雜草駆除として、木材のチップをまずは試験的に今年の3月から5m四方に約20cmの厚みで敷き、雜草の種に太陽の光が当たるのを遮断して雜草の生育を妨げる方法。」

この方法が上手くいけば来年は木材のチップを敷く面積を広げていく予定とのこと。

つる草など全部刈り取り

(2) 「つる草や雜草を駆除するもう一つの方法は、「8月末を目途につる草などの雜草に覆われた場所を、ヨシも含めて全部刈り取り、刈り取つたつる草やヨシを乾燥させて地面を覆い、太陽の光を遮断して種を腐らせ、つる草や雜草を退治しようとする方法」

この方法も上手くいけば、刈り取る面積を広げていくという。



2月17日のヨシ原焼きの後を見ながら、上牧実行組合の木村さんは「今年は篠簾用ヨシの採れるところがずっと減った。質も落ちた。このままではアカン」と語る。3月4日



木材のチップを20cm程の厚みに敷き、つる草雜草などの種に太陽の光を遮断し、生育を妨げる。ヨシの生育に影響はない。
横に「淀川河川事務所 調査中」の看板が立てられている。

オギを減らす

(3) 「ヨシ原にオギが増えてきているので、オギを減らすための対策として、地表50cmぐらいを掘り起こしてオギの根を根絶する方法」

オギは乾燥に強い植物なので、乾燥が進むとオギが増えていく。オギの根は地表50cmぐらいのところにあり、その部分をはぎ取りオギの根だけを取り除き、オギを減らすという。

ヨシの地下茎は約2mと深い所にあるので50cm余を掘り起こしても、ヨシの地下茎には何の影響も与えずに、オギの根だけを退治することが出来る、という。

筆簋用ヨシの復活を目指して

木村さんは「今まで、このままではアカソノ筆簋用ヨシは絶滅すると言っていたが、今年のヨシは昨年より悪い。ただアカンと言っているだけでは、本当に数年で筆簋用ヨシは絶滅してしまう。地元の関係者はみんな感じています。

そこで、筆簋用ヨシの復活に向けて出来ることは何でもしましようとなりました。河川財団とも昨年までは話をしているだけでしたが、今年は、具体的に動くこととなりました。それだけ危機的状況になつていています。

他のヨシ原のヨシを試した方も多いと思いが生育していません。昔から上牧・鶴殿ヨシ原のヨシを使用しています。

雅楽関係者も

みんなで協力しましよう



橋脚建設工事の状況を説明するNEXCO西日本の職員。
2019年3月4日 NEXCO事務所にて

（鈴木治夫）

名神高速道路の建設は橋脚部分の基礎工事（橋脚建設のための杭を打ち込む工事）が進められています。地下の地盤の固いところもあり、工事の進み具合は未定とのことで、この工事は面面続く模様です。なお、6月から10月15日までは台風や洪水も予想されるので建設工事はお休みとなります。

高速道路建設 基礎工事が進む

陵王面は12面、そのうち朝廷型の陵王面は3面あります。どれも動眼、釣顎となつていて桐製の本物なので軽くて顔になじんで舞いやすいです。特におすすめは宮内庁楽部面の近似型（左写真）です。

陵王面の他に還城楽、納曾利、蘇莫者などの中面もあります。（面の写真がカラーでないのが残念です）

（梁取氏製作の舞楽面の解説は、「雅楽だより」2010年1月20号、4月21号、7月22号、10月23号を参照ください）

軽い 見やすい 舞いやすい

梁取氏の陵王面で舞つた方は「今まで樹脂製の面でしか舞つたことがありませんでした



梁取弘美
日本仮面文化研究所所長

舞楽面の貸出し

日本仮面文化研究所 所蔵の面

舞楽面の貸出しを始めます

日本仮面文化研究所所長の梁取氏は、多年に渡り舞楽面の研究を行うと共に、舞楽面多数を製作してきました。これらの所蔵されたいの舞楽面を雅楽の発展と継承のために貸出の委託を雅楽協議会にされました。

貸出を委託された舞楽面は、一覧表（6ページ）の通りです。

陵王面は12面、そのうち朝廷型の陵王面は

（梁取氏製作の舞楽面の解説は、「雅楽だより」2010年1月20号、4月21号、7月22号、10月23号を参照ください）



陵王面 伊勢型アレンジ



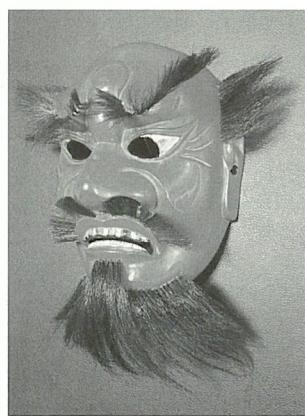
陵王面 伊勢型



納曾利 四天王寺型



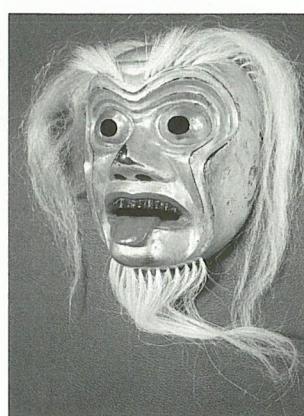
還城樂 嶽島神社型



散手 春日大社型



胡德樂 春日大社型



蘇莫者 四天王寺型

てまず“軽い”と思いました。それに顔になります。見えるところも広いです。

客席で見ているお客さんも、面の迫力は、樹脂の面とは全く違いますから、陵王の勇壮さが面からもにじみ出ます。この面で舞つたらもうこれでしか舞えなくなりますね。」と。

貸出しに当り

梁取氏より寄せられた文章

梁取氏は舞楽面の貸出しにあたり、次のような文章を寄せられました。

舞楽を救おうという

篤志をもった資産家の

出現に期待する

「舞楽は今や衰退・消滅の危機にあります。というのは今、雅楽関係者のほとんどが、本物の舞楽面を知らず、不良仮面を平気で舞台

にかけて舞楽をけがしているのです。

ある団体では、綾切りと称して能面小面と

同様に口を開けて、前歯を見せているものを使つたり、納曾利と称して青黒くペンキ塗りしたようなものを使つていました。

これはとんでもなく舞楽を汚す行為なので

で、その他納曾利、綾切、地久、散手など主な舞楽面を含みますから良く見てください。

2019年1月27日

日本仮面文化研究所

所長 梁取弘美

貸出しの方法について

保管・管理料 2万円

これは綾切りは、菩薩を意味しますから、口はしつかり閉じていなければなりませんし、納曾利は龍を意味しますから、緑のコケが身体に付いた龍体の緑色を基調とした彩色が古来より施されてきましたから、たとえ塗りがはがれていても緑色の部分が必ず残っているのを見られるのですが、べつたりと前面に青黒い塗装をした仮面を使うのは、データラメをやつたという事なのです。

ただ、これらの舞楽面を放出手すると私と妻はこの先を生きるすべを無くす事になり、今年77歳になる老体でどうすればいいかという心配がありますので、願わくば、買い取つて

舞楽面の貸出しは、本物の面を知つていたとき雅楽の素晴らしさを実感していただきためなので、舞楽面そのものの貸出料金はいただきません、無料です。ただし保管、管理の手数料として、本番1回、1面につき2万円をいただきます。送料は含まれておりません、高価なものなので原則手渡しでお願いします。

志をもつた資産家の出現を期待します。その方は関係者ばかりか、全ての国民から感謝され褒めたたえられるでしょう。

遠方の方はご相談ください。

所蔵面は34面ですが、陵王面が12面

には本物の舞楽面で教育するしかありませんので、あえて日本仮面文化研究会に委託して、雅楽関係者へ舞楽面の無料貸出しを開始する運びとなりました。

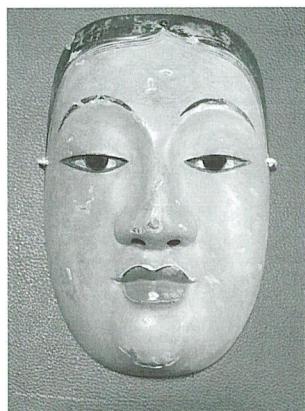
このように乱れた雅楽界を改善する

2019年1月27日

傷つけないよう
お願いします



地久 春日大社型



綾切 住吉大社型

舞楽面の見学		舞楽面貸出し、及び見学の 問合せ・連絡先は左記です。	
「舞楽面を借りたいけど、どんな面なのか 現物を見てみたい」という方は、お気軽にご 連絡ください。		(TEL 042-451-8898 Fax 042-451-8897 住所 〒188-0013 東京都西東京市向台町6-12-6 鈴木治夫	
(1) ①観世音寺型		(2) 濑戸神社型 (3) 嶺島神社型 (4) 伊勢神宮型(初代朝廷型) (5) 春日大社室町時代型 (6) 住吉大社型 (7) 鉄舟寺型 (8) 東大寺型 (9) 伊勢型アレンジ (10) 春日大社江戸時代型 (11) 小茂田浜神社型 (12) 朝廷型江戸時代(宮内庁現用品に近似)	
(1) 陵王舞楽面(12面)		(1) ①四天王寺型 (2) 濑戸神社型 (3) 還城樂 嶺島神社型 (4) 納曾利 (5) 綾切 住吉大社型 (6) 蘇莫者 四天王寺型 (7) 地久 春日大社型 (8) 胡徳樂 春日大社型 (9) 進走禿 手向山型 (10) 退走禿 誉田八幡宮型 (11) 新鳥蘇 春日大社型 (12) 散手 春日大社型 1面 1面 1面 1面 1面 1面 2面 5面 1面 3面 1面 1面	
舞楽面一覧		吉本喜作『曙音』、森下弘義『陽春樂』、川村弘『無題』の3作品が優秀作品に選ばれ、定期演奏会にて発表された。昭和61年の教祖百年祭には、期間中、土・日を除いて毎日「雅楽一手一つ」を開催、34団体計75曲がお供え演奏された。なお、創立30周年の記念演奏会は、同年10月5日名古屋市公会堂にて開催、この演奏会では、音楽研究会の委嘱作品、芝祐靖作曲、雅楽混声曲『神のたのしみ』が発表された。後にこの曲は、「おうた・13」に配された。なお、芝祐靖には、『道の四季』の作曲を委嘱、現在「春」「夏」「秋」の章が完成し、演奏会にて発表されている。11月24日には、奈良文化会館にて音楽研究会の各部門合同のファイナルコンサートが開かれ、近衛秀健作曲『順序の道』が発表された。この曲は、オーケストラと合唱が主体の交響曲であるが、第2楽章が純然たる雅楽の曲となつ	

舞楽面の見学		舞楽面貸出し、及び見学の 問合せ・連絡先は左記です。	
「舞楽面を借りたいけど、どんな面なのか 現物を見てみたい」という方は、お気軽にご 連絡ください。		(TEL 042-451-8898 Fax 042-451-8897 住所 〒188-0013 東京都西東京市向台町6-12-6 鈴木治夫	
(1) ①観世音寺型		(2) 濑戸神社型 (3) 嶺島神社型 (4) 伊勢神宮型(初代朝廷型) (5) 春日大社室町時代型 (6) 住吉大社型 (7) 鉄舟寺型 (8) 東大寺型 (9) 伊勢型アレンジ (10) 春日大社江戸時代型 (11) 小茂田浜神社型 (12) 朝廷型江戸時代(宮内庁現用品に近似)	
(1) 陵王舞楽面(12面)		(1) ①四天王寺型 (2) 濑戸神社型 (3) 還城樂 嶺島神社型 (4) 納曾利 (5) 綾切 住吉大社型 (6) 蘇莫者 四天王寺型 (7) 地久 春日大社型 (8) 胡徳樂 春日大社型 (9) 進走禿 手向山型 (10) 退走禿 誉田八幡宮型 (11) 新鳥蘇 春日大社型 (12) 散手 春日大社型 1面 1面 1面 1面 1面 1面 2面 5面 1面 3面 1面 1面	
舞楽面一覧		吉本喜作『曙音』、森下弘義『陽春樂』、川村弘『無題』の3作品が優秀作品に選ばれ、定期演奏会にて発表された。昭和61年の教祖百年祭には、期間中、土・日を除いて毎日「雅楽一手一つ」を開催、34団体計75曲がお供え演奏された。なお、創立30周年の記念演奏会は、同年10月5日名古屋市公会堂にて開催、この演奏会では、音楽研究会の委嘱作品、芝祐靖作曲、雅楽混声曲『神のたのしみ』が発表された。後にこの曲は、「おうた・13」に配された。なお、芝祐靖には、『道の四季』の作曲を委嘱、現在「春」「夏」「秋」の章が完成し、演奏会にて発表されている。11月24日には、奈良文化会館にて音楽研究会の各部門合同のファイナルコンサートが開かれ、近衛秀健作曲『順序の道』が発表された。この曲は、オーケストラと合唱が主体の交響曲であるが、第2楽章が純然たる雅楽の曲となつ	

天理教と雅楽 (3)

天理大学名誉教授 雅楽部総監督

佐藤浩司
佐藤浩司

なお、何分にも高価なものなので、信用、信頼のもとでの貸出しです。傷をつけないようにしていただくのはもちろんですが、万一傷をつけたり破損した場合は、速やかにご連絡ください。製作しました梁取さんに修理をお願いします。自分での安易な修理は、その後の修理が出来なくなる場合がございますので、絶対にお止めください。

「面が落ちそうになつたら
舞うのを止めて面を守る」

元宮内庁楽部楽長の東儀勝先生は、面の使用について「舞台のミスは1回限りだけど、面が壊れたら、もう2度とその面は存在しなくなるのだから、先ずは面を守る。面が落ちそうになつたら舞うのを止めて面を守る。面を扱う上でとても大切な事だから忘れないでね」と念を押して話されていました。大切な面ですので、面が落ちそうになつたら舞を止めるなど気を付けてご使用ください。

貸出しを行う舞楽面は、すべて梁取さんが製作された面です。舞楽面は特に高価なもので。安い面でも数百万円はいたします。それを「今、雅楽関係者のほとんどが本物の舞楽面を知らない。雅楽の素晴らしさをまず演奏者も知ることが大事」との梁取さんの想いから、本物の舞楽面の貸出しを行うことになりました。

梁取さんの文章に、「願わくば、舞楽面を買い取つて無料貸出しを実現して、舞楽を救おう」という篤志をもつた資産家の出現を期待します」とありますように、篤志家の方の申し出をお待ちしています。

貸出用

舞楽面一覧		舞楽面貸出し、及び見学の 問合せ・連絡先は左記です。	
(1) ①観世音寺型		(2) 濑戸神社型 (3) 嶺島神社型 (4) 伊勢神宮型(初代朝廷型) (5) 春日大社室町時代型 (6) 住吉大社型 (7) 鉄舟寺型 (8) 東大寺型 (9) 伊勢型アレンジ (10) 春日大社江戸時代型 (11) 小茂田浜神社型 (12) 朝廷型江戸時代(宮内庁現用品に近似)	
(1) 陵王舞楽面(12面)		(1) ①四天王寺型 (2) 濑戸神社型 (3) 還城樂 嶺島神社型 (4) 納曾利 (5) 綾切 住吉大社型 (6) 蘇莫者 四天王寺型 (7) 地久 春日大社型 (8) 胡徳樂 春日大社型 (9) 進走禿 手向山型 (10) 退走禿 誉田八幡宮型 (11) 新鳥蘇 春日大社型 (12) 散手 春日大社型 1面 1面 1面 1面 1面 1面 2面 5面 1面 3面 1面 1面	
舞楽面一覧		吉本喜作『曙音』、森下弘義『陽春樂』、川村弘『無題』の3作品が優秀作品に選ばれ、定期演奏会にて発表された。昭和61年の教祖百年祭には、期間中、土・日を除いて毎日「雅楽一手一つ」を開催、34団体計75曲がお供え演奏された。なお、創立30周年の記念演奏会は、同年10月5日名古屋市公会堂にて開催、この演奏会では、音楽研究会の委嘱作品、芝祐靖作曲、雅楽混声曲『神のたのしみ』が発表された。後にこの曲は、「おうた・13」に配された。なお、芝祐靖には、『道の四季』の作曲を委嘱、現在「春」「夏」「秋」の章が完成し、演奏会にて発表されている。11月24日には、奈良文化会館にて音楽研究会の各部門合同のファイナルコンサートが開かれ、近衛秀健作曲『順序の道』が発表された。この曲は、オーケストラと合唱が主体の交響曲であるが、第2楽章が純然たる雅楽の曲となつ	
(1) ①観世音寺型		(2) 濑戸神社型 (3) 嶺島神社型 (4) 伊勢神宮型(初代朝廷型) (5) 春日大社室町時代型 (6) 住吉大社型 (7) 鉄舟寺型 (8) 東大寺型 (9) 伊勢型アレンジ (10) 春日大社江戸時代型 (11) 小茂田浜神社型 (12) 朝廷型江戸時代(宮内庁現用品に近似)	

昭和55年3月より月例雅楽勉強会を、同年4月より半年を1期として週例雅楽勉強会の開催を始めた。また、昭和56年より活動方針を「雅楽の広まりと深まり」とすることに決定した。昭和58年、音楽研究会のメンバー8名が東京樂所のヨーロッパ公演に参加し、力を付けて帰国、他のメンバーへの影響大なるものがあつた。昭和60年に翌年の教祖百年祭と音楽研究会創立30周年を記念して、雅楽の新曲を公募したところ8作品の応募があり、吉本喜作『曙音』、森下弘義『陽春樂』、川村弘『無題』の3作品が優秀作品に選ばれ、定期演奏会にて発表された。昭和61年の教祖百年祭には、期間中、土・日を除いて毎日「雅楽一手一つ」を開催、34団体計75曲がお供え演奏された。なお、創立30周年の記念演奏会は、同年10月5日名古屋市公会堂にて開催、この演奏会では、音楽研究会の委嘱作品、芝祐靖作曲、雅楽混声曲『神のたのしみ』が発表された。後にこの曲は、「おうた・13」に配された。なお、芝祐靖には、『道の四季』の作曲を委嘱、現在「春」「夏」「秋」の章が完成し、演奏会にて発表されている。11月24日には、奈良文化会館にて音楽研究会の各部門合同のファイナルコンサートが開かれ、近衛秀健作曲『順序の道』が発表された。この曲は、オーケストラと合唱が主体の交響曲であるが、第2楽章が純然たる雅楽の曲となつ

音楽研究会初のCDが、平成6年4月道友社の企画制作により『奏練習のために・雅楽・平調I管絃』の名で出された。この後、演奏こそ音楽研究会から天理大学雅楽部にバトンタッチされたが、6調子が10枚のCDに収められている。

ムス・ザールにて演奏し、あわせて青年会創立70周年を意義あるものとするため、ヨーロッパ各国を訪問演奏した。平成8年には、教祖110年祭と音楽研究会創立40周年を記念し、「いつもおぢばを賑やかに」の真柱の掲唱を受けて、毎月の雅楽公演を日指して、1月25日の雅楽大合奏を始めとし、2、3、4、8、11、12月の25日に「雅楽一手一つ」を、10月26日には雅楽大合奏お供え演奏会を開催した。平成10年4月25日、教祖御誕生200年を慶祝して、本部中庭にて「雅楽お供え演奏」を行い、大窪永夫の指揮で「越殿樂」「五常樂急」「陪臤」を600人が演奏した。

ている。昭和62年は、立教150年となり10月26日秋季大祭終了後、「立教百五十年雅楽一手一つ—雅楽大合奏お供え演奏会」を第二食堂にて開催した。この後、毎年秋季大祭終了後、同じく第二食堂にて雅楽大合奏お供え演奏会を行っている。昭和63年5月27日から6月12日、天理雅楽ヨーロッパ公演を行つた。これは、ウィーンにある楽友協会の創立175周年を記念する祝祭音楽週間に正式に招待されたもので、5月31日同協会のブラー

昭和49年に開校した天理教校附属高等学校は、翌50年に雅楽部が発足、熱心に活動を展開していた。中でも手作りの欄干、大太鼓、大鉦鼓は、素晴らしい出来映えで、これを携えて、平成6年、5年前に天理大学雅楽部が復元した舞楽『柳花苑』をもつて、第18回「全国高等学校総合文化祭」に奈良県代表として出演、見事文化庁長官賞を獲得、同年8月、國立劇場を舞台に開催された同文化祭の東京公演にも出演した。同じく兄弟校であつた天理劇場を舞台に開催された同文化祭の東京公演にも出演した。

た第14回「全国高等学校総合文化祭」に奈良県代表として出演、日本音楽部門で優秀賞を獲得、同年3月に国立劇場にて開催された第1回の優秀校による演奏会に出演した。天理高校二部雅楽部は、勤務と学業を両立させながら、その上クラブ活動にも力を注いでいるが、平成5年より4月29日のみどりの日に、「緑翠演奏会」と銘打つて屋外での演奏会を開いている。

ており、宮内庁樂部の指導を仰ぐとともに、教内でも、教会本部や、音楽研究会、青年会から講師が選ばれて指導にあたつている。「おぢば」の各学校では、雅楽への関心が高く、天理中学校、天理高等学校一部・二部、天理教校学園高等学校（天理教校附属高等学校と親里高等学校が合併）、天理教校専修科、天理大学では、課外クラブとして活動が行われている。天理高校求道部雅楽班は、昭和24年に創部され、歴史もあり、同じ求道部女鳴物研究班とともに、如月演奏会を行つたり、各種の依頼演奏に出演したり、幅広い活動を行つてゐる。平成2年には、山梨県で開催され

して、韓国国楽の演奏団を招いた「韓国国楽と雅樂」の名称で合同の演奏会を開いた。これは昭和63年の第6回までこの名称で行われ、その後は、韓国国楽だけではなく、吹奏楽との合同となつたり、名称と主催が道友社に変わる等の変更はあるが続いてきた。なお、昭和60年7月20日に開催されたこの演奏会では、特別出演として天理教育音楽研究会の小林郁二研究員が、この年天理市内の星塚古墳より出土した、松笛（推定）を復原し、雅樂の演奏を行った。

2回 序文5回を詰問し、自閉新音と日本
交流に尽くしている。また、各国の民族音楽等の演奏団も受け入れて、合同の公演も行っている。昭和51年の「中国古事演奏会」を始めとして、中国国楽関係では、昭和59年5月23日大阪、ザ・シンフォニーホール、24日奈良・史跡文化センターにおいて「シルクロードを経て—中国国楽と雅楽」、昭和62年8月6日、何名忠、魏徳棟の他の4回の演奏会を開催、また昭和57年の秋渕大学校を第1回として、韓国国楽の演奏団を招いた「韓国国楽

理教校附属親里高等学校は、平成元年開校とともに雅楽部が設けられ、2年後の平成3年6月23日、第1回の定期講演会を、第二食堂を舞台に開催した。諸般の事情から、平成17年、附属高等学校と親里高等学校は合併して天理教校学園高等学校となり、一層充実した活動が展開されている。

天理大学雅楽部は、昭和26年創部以来活発な活動を展開、定期公演も天理、大阪、東京において開催し、海外公演は昭和50年を第1回としてこれまでに、アジア、南北アメリカ、ヨーロッパ、ユーラシア、オセアニアなど、



メキシコ公演 カーテンコール

国樂の笛との吹き比べが行われ注目された。この他、米国のジャズ・オーケストラメキシコの合唱団、日・豪州・クインズランド州青年交響楽団、ブルンディイ国立民族舞踊団、フィリップス（マールブルク）大学交響楽団など、多種多様な団体の公演を引き受けている。

天理大学の特記事項として、伎楽の復元が挙げられる。昭和55年10月17日東大寺大仏殿昭和修理落慶法要において、幻の天平芸能といわれた伎楽を復元公演、同日NHK特集『鶴尾放光』-幻の『天平』再現』としてテレビ放送されたのを嚆矢として、以後毎年の竣工を機に、孫悟空で名高い三藏法師の「経求法の旅」を、伎楽で演じることになり、

平成4年5月5日を第1回として、毎年同日演じられている。三蔵法師はプロの俳優が演じており、第1作目は山田吾一、4作目は水谷良重、5作目は水谷良重改め水谷八重子が演じている。平成9年の6回目からは、よりよいものに仕上げるために第1作目に戻ることになり、5代目中村時蔵が演じた。7、8回目は、第2、3作目を中村新次郎が、9回目は、第4作目を片岡孝太郎が演じた。10回目は、第5作目を演ずる予定であったが、薬師寺玄奘三蔵院で、絵殿と呼んでいたところを、平山郁夫の絵が完成したので壁画殿と呼び、総集編として、「取經求法の旅」の始めから、太宗皇帝に将來したことになった。この時、5月5日、6日と片岡仁左衛門が演じた。以後毎年、総集編を演ずることになり、役者も、11回目水谷八重子、12回目中村梅玉、13回目水谷八重子、14回目上原まり、15、16、17回目滝田栄、18回目茂山逸平、19回目榎木孝明、20回目茂山良暢、21回目東儀秀樹、22回目田村亮、23、24回目東儀秀樹であった。この伎楽は、天理、東京、大阪における定期公演でも演じられており、またこの伎楽と雅楽をもつて、平成2年10月13、14、15日ボストン美術館東洋部開設百周年記念展覧会でも演じた。この他、平成24年には、国立劇場6月特別企画公演で、第1部「三蔵法師」を、第2部で「行道と獅子奮迅」のところを演じた。

平成19年11月10日には、「雅・癒やし・愛」（奈良文化会館）をテーマに公演を行い、伎

樂『聖武天皇の夢』、古樂『五常樂急』、女樂『柳花苑』、現代曲『サンサーラ』、そして『源氏物語・未摘花』を水谷八重子の朗読と雅樂と、言わば雅樂の集大成であった。平成22年には、平城遷都1300年の行事に参加、「曲水の宴」、「相撲節会」、「射礼」等に、雅樂で協力した。ところで平成26年5月3日、雅樂部は、NASAを中継して、宇宙ステーションの若田光一が吹く笙とコラボ演奏をした。

この他、雅樂の廃絶曲や舞の復元にも取り組み、前衛舞踏や現代音楽との共演など多彩な活動を行っている。昭和60年には、CBSソニーよりレコードが出され、後にCDとなつていて。雅樂部のOB会の組織であるおやさと雅樂会は、平成27年にロシア公演を行つている。



伎樂 醉胡従と獅子

各教会、教区支部を通じての活動も活発で、撫養大教会と同大教会から分離陞級した大教会によつて構成される雅真会は、各教会持ち回りで総会を開き、各地で演奏を行つてゐる。同じように、兵神大教会は、大教会と同大教会から分離陞級した大教会によつて演奏会を開催している。本原典分教会を中心に行つている雅樂天神会、埼玉雅樂連盟、生駒大教会雅樂部は、市の文化祭などに出演し地域に密着した活動を行い、阪府分教会雅友会は定期公演をもつてゐる。敷島大教会は昭和55年より、独自に「雅樂一手一つ」を開催している。大阪教区雅樂部や愛知教区雅樂部は、独自に指導者講習会を開催、大阪教区は昭和56年、愛知教区は翌57年より毎年「雅樂一手一つ」を開催するなど幅広い活動を行つてゐる。青年会の雅樂講習会の講師を勤めた者で構成している雅鳳会は、各地の公演を始め、海外でも公演を行つてゐる。静岡のするが雅樂会や浜松楽所、東京教区管内の有志による雅星会、新潟の寄居若葉会、広島の雅広会や九嶺雅樂俱楽部、四国の阿波雅樂会、南国雅樂会、中和雅友会、鹿児島教区青年会のさつま雅会と、北から南まで日本全国ほとんどの地域でなんらかの雅樂の催しがもたれてゐる。この中から海外へも関係教会が出掛け、にをいがけ（においがけ）の一助となつてゐる。兵神芳樂会と敷島雅勇会、日野大教会のオーストラリア公演、南大教会、牛込大教会雅樂部が台湾に、青年会東愛分会がカナダ、北洋大教会がインド、明和大教会の明和雅樂会は、韓国へ、東旭川分教会はロシアに出掛けてい

る。また、日本各地の様々な雅樂会に參加し活動している。

日本の伝統芸術として息づいている雅樂は、今日、天理教の一文化として花咲き、日本国内はもとより、たとえば伝道厅のあるアメリカ合衆国のハワイやロサンゼルス、あるいはブラジル、台湾にも雅樂部が組織されて、彩りを見せていて。

なお、教内で雅樂の曲として作られたのは、先述の「神の御國」「陽和樂」「黎明」「陽氣づくめ」「神のたのしみ」のほかに、篠森富次作曲の「梅芳樂」「文長樂」「鶴應樂」「霞洗」、増田孝則作曲の「蘇春」などがある。（完）

平成30年6月より毎月第3若しくは第4曜日の夕刻、下神明天祖神社境内に於いて「神明雅樂」が行われてゐる。雅樂道友会ではオリンピック・パラリンピックに関連した「東京2020参画プログラム」8項目の中の一つ、文化事業として大会を応援出来るプロジェクトに年2度程の公演を以て参画してゐたが、雅樂という日本文化をPRするにはより多くの開催が望ましく、品川区からの協力もあり、オリンピック開催の来年7月まで毎月催す事となつた。

内容は①振鉾若しくは人長舞②左方舞樂③右方舞樂が基本で、兩天の場合は演目を全て変更し、社務所内で管絃を中心とした鑑賞会を行つてゐる。同社宮司でもある福岡三朗樂長によると、「月々の演目を暗譜するのは大

品川で毎月雅樂公演を開催

雅樂道友会

四箇の大曲は、
「團亂旋」はこし
とし、「春鶯囀」
を秘曲とする。

また大曲に準じ

この曲の伝授

を聴き、教え

受けることが出

れは昔からの慣

「この曲の伝授」

ナニ。許され

いなし 話され
ない。これは昔

ない これは昔

110

春～夏まで

11

花見の宴 玉前

3月30日(土)

管絃
平調
越

舞楽
陵王ほか

問合せ
TEL
04

石清水八幡宮

4月3日(水)

舞樂
迦陵頻

演奏 平安雅樂卷

問合せ
TEL
07

水八幡宮

國營木曾三川八

4月6日(土)

舞樂
賀殿

演奏 多度雅楽

高岡市福岡町
吉

4月7日(日)

問合せ Tel 0596-24-1111 新御代奉祝雅樂 (東京)	5月1日(水・祝)午後1時半 無料 一部 舞樂 太平樂 二部 催馬樂 管絃 更衣 三部 舞樂 進走徳(六人舞) 奉納演奏 雅樂道友会 問合せ Tel 03-3783-7349	5月5日(日)午後2時 舞樂 振鉢二節 萬歳樂 延喜樂 演奏 東京樂所 問合せ Tel 0467-22-0315 卯之葉神事 奉納舞樂 住吉大社 (大阪)	5月6日(月)午後1時半より吉祥殿にて 舞樂 振鉢 萬歳樂 太平樂(急のみ) 長慶子 演奏 天王寺樂所 問合せ Tel 06-6672-0753 御陰祭 下鴨神社 (京都)
5月2日(木)午後1時 舞樂 胡蝶 ほか 演奏 南都樂所 問合せ Tel 0742-22-5511 神樂祭 西宮神社 (兵庫)	5月3日(金)午前11時 舞樂 還城樂(右) 納曾利 5月4日(土)午前11時 曲目未定 5月5日(日)午後1時半 舞樂 陵王 五節舞 5月6日(月)午前11時 曲目未定 5月10日(金)午前11時 陵王 出演 女人舞樂原笙会 問合せ Tel 0797-23-1886 斎王代以下女人列御禊の儀 下鴨神社 (京都)	5月12日(日)午後3時 切芝神事 東游 演奏 平安雅樂会 問合せ Tel 075-781-0010 葵祭 下鴨神社 上賀茂神社 (京都)	5月15日(水)午前11時40分 下鴨神社 東游 午前11時40分 上賀茂神社 東游 午後3時30分 演奏 平安雅樂会 問合せ Tel 090-4954-1156 六華苑 春の舞樂会 (三重)
5月18日(土)19日(日) 舞樂 ほか 演奏 多度雅樂会 問合せ Tel 090-4954-1156 元伊勢籠神社御鎮座1300年祭 (京都)	5月18日(土) 舞樂 五常樂一具(詠・多度川) 地久 賀殿 陪臚 ほか 演奏 多度雅樂会 問合せ Tel 090-4954-1156 伶楽舍雅樂コンサート no.35 (東京)	5月26日(日)午後2時 4500円 紀尾井ホール小ホール 出演 豊剛秋(笙) 中井智弥(二十五絃箏) 藤間信之輔(舞踊) 問合せ Tel 090-4954-1156 青海波を聴く、観る (東京)	5月10日(月)午前11時 舞樂 萬歳樂 出演 女人舞樂原笙会 問合せ Tel 0797-23-1886 漏刻祭 近江神宮 (滋賀)
5月27日(月)午後7時 四谷区民ホール 前売3000円 当日3500円(全席自由席) 奉幣祭 舞樂 蘭陵王(予定) 奉納舞樂 胡蝶 萬歳樂 蘭陵王 演奏 平安雅樂会 問合せ Tel 090-4954-1156 青葉まつり 高野山 (和歌山)	6月14日(金)午前10時 舞樂 萬歳樂 出演 女人舞樂原笙会 問合せ Tel 0797-23-1886 6月15日(日)午前9時 長谷寺(奈良)	6月16日(日)午前9時 舞樂 陵王 納曾利 舞樂 陵王 納曾利 舞樂 陵王 納曾利 演奏 神奈川雅樂部 問合せ Tel 045-931-1714 十二音会 第四十一回公演 (東京)	6月10日(月)午前11時 舞樂 萬歳樂 出演 女人舞樂原笙会 問合せ Tel 0797-23-1886 6月15日(土)午後6時半 紀尾井ホール 全席指定 5千円
5月18日(土)午後5時10分 祭祀舞 豊采の舞 管絃 盤渉調音取 千秋樂 蘇莫者 舞樂 蘇利古 還城樂 長慶子 演奏 横浜雅樂会 問合せ Tel 045-531-0150 KaTaCHI序章 (石川)	5月30日(木)午前11時 三千院門跡 声明付楽 演奏 平安雅樂会 問合せ Tel 045-531-0150 6月1日(土)午後2時 S席3500円	5月19日(日)午後5時 下神明天祖神社境内 舞樂 振鉢二節 萬歳樂 貴徳 演奏 雅樂道友会 問合せ Tel 03-3783-2371 錦天満宮 春季大祭 (京都)	6月8日(土)午後2時 2000円 神奈川県民ホール 小ホール 祭祀舞 豊栄の舞 催馬樂 伊勢ノ海 管絃 平調音取 越殿樂 舶渉調音取 千秋樂 蘇莫者 蘇利古 還城樂 長慶子 舞樂 長保樂 蘇利古 還城樂 長慶子 問合せ Tel 045-531-0150 チケットプレゼント有り 横浜雅樂会35周年記念演奏会 (神奈川)
演奏 南都樂所 問合せ Tel 0742-22-7788 (東京)	6月1日(土)午後2時 S席3500円 白山市松任文化会館 出演 豊剛秋(笙) 中井智弥(二十五絃箏) 藤間信之輔(舞踊) 問合せ Tel 076-274-4744 神明雅樂	6月19日(日)午後5時 下神明天祖神社境内 舞樂 振鉢二節 萬歳樂 貴徳 演奏 雅樂道友会 問合せ Tel 03-3783-2371 錦天満宮 春季大祭 (京都)	6月19日(日)午後5時 白山市松任文化会館 出演 豊剛秋(笙) 中井智弥(二十五絃箏) 藤間信之輔(舞踊) 問合せ Tel 076-274-4744 横浜雅樂会35周年記念演奏会 (神奈川)
演奏 南都樂所 問合せ Tel 0742-22-7788 (東京)	6月1日(土)午後2時 S席3500円 白山市松任文化会館 出演 豊剛秋(笙) 中井智弥(二十五絃箏) 藤間信之輔(舞踊) 問合せ Tel 076-274-4744 神明雅樂	6月19日(日)午後5時 下神明天祖神社境内 舞樂 振鉢二節 萬歳樂 貴徳 演奏 雅樂道友会 問合せ Tel 03-3783-2371 錦天満宮 春季大祭 (京都)	6月19日(日)午後5時 白山市松任文化会館 出演 豊剛秋(笙) 中井智弥(二十五絃箏) 藤間信之輔(舞踊) 問合せ Tel 076-274-4744 横浜雅樂会35周年記念演奏会 (神奈川)

6月22日（土）午後3時

全指定2500円、会員2250円、
22歳以下1000円、親子券3000円

静岡音楽館AOIホール

平調音取 越天樂 舞樂

胡飲酒破、東野珠

実脚本・作曲「雅楽童話『ききみみずきん』」
演奏・解説 伶楽舎問合せ Tel 054-251-2200
神明雅楽

(東京)

6月23日（日）午後5時

下神明天祖神社境内

舞楽 振鉾二節 八仙 抜頭（左）

演奏 雅楽道友会

(大阪)

大阪楽所第37回雅楽演奏会

(大阪)

6月29日（土）

昼の部午後2時 夜の部午後6時開演

3000円（チケットぴあ・劇場窓口）

国立文楽劇場（大阪）

管絃 滾渉調音取 輪台 蘇母屋 越殿樂

舞楽 振鉾 萬歳樂 綾切 長慶子

問合せ Tel 06-6214-8260

夏越の大祓 『樂の記憶』

6月30日（日）午後7時 桐生市有鄰館酒藏

4000円（小学生以下無料・乳幼兒可）

中村仁美（簫築）石坂亥士（神樂太鼓）
問合せ Tel 090-4965-9005

（ストウ）

雅楽の集い

(岐阜)

6月30日（日）午後2時 演目未定

演奏 多度雅楽会 主催 高須別院

雅楽公演 （オーストリア・ボーランド）
百年より千年へ雅楽千年の歴史

オーケストラによる御祝賀

7月3日～9日 4か所

管絃 黄鐘調音取 千秋樂 西王樂破

拾翠樂 舞樂 北庭樂 陵王 浦安の舞

特別出演 安齋省吾師

演奏 公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

今昔雅楽集 二、舞の絵巻

(宮城)

7月6日（土）午後5時

（午後4時45分プレトーク）

全席指定3500円、25歳以下1000円
水戸芸術館コンサートホールATM芝祐靖復曲 伎樂（行道乱声・獅子・迦楼羅）、
伊左治直作曲 紫御殿物語鳥瞰絵巻

舞楽 青海波 蘭陵王 落躰

演奏 伶楽舎

問合せ Tel 029-231-8000

師岡熊野神社「星祭」

(神奈川)

7月7日（日）午後7時5分

管絃 盤渉調音取ほか 舞楽 還城樂 ほか

演奏 横浜雅楽会

問合せ Tel 045-531-0150

★★★読者チケットプレゼント★★★

☆伶楽舎 5月27日 四谷区民ホール

○3名様ご招待 招待券を送付

☆横浜雅楽会 6月8日 神奈川県民ホール

○5名様ご招待 5月25日必着 招待券を送付

☆大阪楽所 6月29日 国立文楽劇場

○5名様ご招待 6月15日必着 招待券を送付

応募資格・「雅楽だより」定期購読者

応募方法・はがきに希望の演奏会・住所・氏名、
電話番号など必要事項を記入。

応募先 Tel 188-0013

東京都西東京市向台町6-12-6 鈴木治夫

TEL. 042-451-8897

FAX 03-5902-7282

唱歌で学ぶ日本音楽
日本音楽の教育と研究をつなぐ会
連絡先
〒114-0003 東京都北区豊島1-5-6
電話 03-5902-7281
FAX 03-5902-7282

新刊

「雅楽の誕生」鈴木聖子著 春秋社

3500円（十税）発行2019年1月30日

「このよ

見るならば、私たちは与えられた「雅楽」
を見ることによって、「雅楽」の真実に迫る
ことができる。雅楽は、なんらかの正解のある「雅楽」
を描こうとするものではなく、「雅楽」について一人一人が思いめぐらすことができるよう
に、現在の私たちの「雅楽」を次の世代へ
と受け渡す必要があることが分かるだろう。
ゆえに本書は、なんらかの正解のある「雅楽」
を描こうとするものではなく、「雅楽」について一人一人が思いめぐらすことができるよう
にするための、歴史的な道具のひとつを提供しようとするものである。（本書「はじめ
に」より）「平成時代の「雅楽」」
「アーティストの「雅楽」」
「くわんわくされた「雅楽」の真相」

「2000年版」

「「雅楽」の歴史」

「「雅楽」の文化」

「「雅楽」の技術」

「「雅楽」の思想」

「「雅楽」の精神」

「「雅楽」の歴史」

「「雅楽」の文化」